



この夏のお出かけから！

その1 大阪万博

行かれた方も多いのではと、今年話題の“大阪万博”に行ってきました。丁度梅雨明けの直前で、会場にわか雨の洗礼も受けましたが、本格的に暑くなる前でしたので、シニア夫婦3組で何とか見えてきました。

私が一番見たかったのは世界最大の木造建築としてギネスにも登録された“大屋根リング”。直径600m、高さ20mもの構造物は圧倒的な規模でした。それと、「iPS心臓」。ラッキーにも、にわか雨でパビリオンの行列が少なくなったタイミングに短い待ち時間で入ることができ、iPS細胞から作られた心筋細胞が培養液の中で拍動する様子を、この目で見ることができました。

まあ、限られた時間でしたので、あれこれ見ることはできませんでしたが、十分に楽しむことができました。

折角大阪に行ったのだからと夜は心斎橋で、ソース二度漬け厳禁の“串カツ”で大阪の夜を堪能。

翌日、梅雨明け初日。大阪駅から出ている屋根の無い2階建てバスで市内観光。暑い日差しにさらされましたが、開放的なバスでガイドさんの説明を聞きながらの観光は、初めての街を回るようで新鮮でした。(啓)



大屋根リング



iPS心臓



2階建てバス



その2 久しぶりの港町ヨコハマ！

7月の月末に、業界の会議が東京であり、久しぶりに在京の大学時代の友人と会ったところ「昼飯は水餃子の美味しい店があるので、横浜中華街に行こう！」と車で連れて行ってくれました。久しぶりの中華街は平日にもかかわらず、多くの人でごった返していました。

連れて行ってくれたお店はこじんまりしたお店で、お客さんもそれほど多くはありませんでしたが、水餃子は前評判通りの美味しさで、さすが中華街でした。



中華街にあるお寺「横浜関帝廟」



水餃子

食後、横浜港に行ってコーヒーでも飲もうと行ったところ、丁度就航したばかりの豪華客船“飛鳥Ⅲ”が接岸していたので見えてきました。

船内は分かりませんが、外に面したすべての客室にバルコニーがあり、長旅でもゆったりと過ごせるようになっているようでした。

いつか乗ってみたいですね！(啓)



飛鳥Ⅲ

知らない番号からと電話に出
ていただけないお客様へ！

お願い

勝手ながら廿日市店の電話番号変更しました、番号登録の変更をお願いします
0827-28-0051

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 HPは

ゲイナンハウス



最後までお読みいただき有難うございました、次回は来年1月頃の予定です。(啓)

*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



住まいる通信

令和7年10月
第103号



みなさんこんにちは！いやー昨年にも増して今年の夏は暑かったですね～！もはや寝苦しいを通り越して、エアコン無くしては眠ることもできないほどの暑さ。これまではタイマーをセットして寝ていたように思うのですが、今年の夏はタイマーが切れた途端に暑さで目が覚めてしまい、再びエアコンのスイッチを入れ朝を迎える日々でした。まさに地球温暖化を痛感した夏ではなかったでしょうか！

さて、上の写真は親子でガッツポーズをしておりますが、先般弊社の代表取締役を私から工務部長の河野大輔に引継ぎを行いました。思い起こせば、2002年45歳の時に先代から社長を引き継ぎ、お客様からすこしでも身近に感じてもらえる会社になりたいとの思いから、この“すまいる通信”を送り続けさせていただきましました。時折お客様からいただく「通信楽しみにしてるよ！」とのお言葉を励みに作り続けて20年、ゲイナンハウスを知っていただく一助になったのではと自負しております。お陰様で、先代から引き継いで以来、自分の思う“ありたい会社”に近づけたのではとっております。

かように前ばかり見て20年以上走り続け、しばらく前からバトンタッチの時の体制など考えて来ましたが、少人数の会社で思うような体制を作ることでもできず、どうしたもんかと思っていたところ、顧問の会計事務所の先生に決算の相談に行った折に「そろそろ社長を交代しようかと・・・」とボソッと口走ったところ、「そりゃええことじゃ、すぐやろう！！、後はわしが進めるけえ！」といきなり背中を押されて交代に至った次第です。何ともお恥ずかしいような顛末ですが、思い返してみれば、自分が引き継いだ時は業態の転換期で、男性社員は自分を入れても5人！社長といえども営業の一線で営業目標をもって忙しくしていたことを思い出します。ですので、工務部長をしている新社長も現場で汗しながら自分の思う“ありたい会社”に向かって進んでもらえば良いのかと。

現在42歳の新社長が私の年になった時には創業80年を迎えることとなります。果たしてその時ゲイナンハウスがどのようなになっているか知る由もありませんが、今の私に言えることは、弊社のスローガン「住まいの“困った”を“良かった”に！」を愚直にお客様目線で進めて行けば、必ずや創業80年を迎えることができるものと信じております。

役職は変われど、このすまいる通信は私のお役目として引き続き担当させていただきますので、新社長共々、今後共どうぞよろしくお願い致します。(啓)



河野



新社長

新社長より

・はじめに

皆様お世話になります。この度新たに社長として就任させていただきました、河野 大輔と申します。弊社も祖父の代より今年で55周年を迎え、地域の中でも老舗となってまいりました。これまで時代の機微を捉えながら多くの困難を乗り越え、仕事を続けられていることは歴代の社長のお蔭であり、何よりこれまで弊社とお付き合いをいただいている皆様のお蔭であると、深い感謝を感じるとともに重責に対し身の引き締まる思いでございます。これからも地域に必要とされる企業であり続けるべく尽力してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

・自己紹介

私は現在42歳で、学生時代は中学校から大学まで柔道をしており、三段まで取得しました。大学を卒業してからハウスメーカーで3年ほど勉強させていただき、その後工務として入社、それからほぼ現場畑を歩き続けて17年目となります。既婚でありまして妻も弊社の事務として働いております。妻とは大学時代に知り合い、結婚しました。両親に言わせれば大学に行かせて1番良かったことだそうです(笑)。子どもは男の子3人。高3の長男、高1の次男、中1の三男です。趣味はソフトバレーボールを夫婦でしています。ゴルフも最近させていただくことが増えてきたので練習していますが、才能が感じられないので心折れつつあります(涙)。また、長男が吹奏楽、次男がラグビー、三男がサッカーをやっているのて試合等を見に行くことが楽しみになっています。なかなか行けませんが…。

・事業について

弊社の仕事は、昔は地場の大工さんや工務店さんなどが担っていたことでしたが、大工さんだけでなく工務店すらも減少してきていることが現状です。しかしながら、家の修理も改修工事もなくはないことはありません。弊社がいかにその受け皿となれるか。そのための体制づくりと維持。これが大きな私の代でのテーマであると考えています。

弊社は社員自身がある程度の修理工事の能力を持ち、簡単なものは直してしまいうことができます。他社との違いは正にこの部分が大きく、普通であればまず職人を手配して、というところが社員が何うことでその場で直せたり、応急処置ができたりします。大手の企業とは違い、私たちに求められることは、気軽に声をかけられる存在であることです。それは、対応の早さであり、頼みやすさであり、社員の人柄であると思います。ナンバーワンよりオンリーワンとよく言われますが、何か特色のあるデザインや商品の取り扱いというものではなく、人と人という面でのオンリーワンでありたいと存じます。とりあえず何かあったらここに電話すれば何とかしてくれるじゃろ！とっていただけるよう努めてまいります。

・不変と可変

「不易流行」、時代の変化によって変わるべきは変えながらも仕事に対する想いは変わらず持ち続けてまいります。変わるべきは、仕事の仕方や商品・材料等の物。或いは、仕事の時間やものの考え方等もそうかもしれません。その中で、“住まいの「困った」を「良かった」に！”という想いは住宅が存在する限り不変でありたいと思っています。

“住まいの「困った」を「良かった」に！”の本質は、蛇口や配管から水漏れがする、キッチンやお風呂が古くなった、壊れた、外壁が屋根が・・・と住まいの困ったことは出てきますが、その原因を直すだけでなく、お客様の不安や不満を無くすことと思います。お客様が一体何に不安や不満を持っており、どうすればそれが解消するのか。お互いに話をし、より良い解決ができるようになるには、お客様との信頼関係が重要です。そのためにも、小さくても大きくても「困ったこと」を何とかしよう！という姿勢を持ち続けることが必要だと考えております。

・最後に

終わりになりますが、急な代替わりにて引継ぎもまだまだありますが、この会社がこれからも永続し、皆様に社会に必要とされ続けていくために尽力してまいります。このような小さな会社ではありますが、小さいからこそより身近に感じていただき、気軽に声をかけていただける存在でありたいと思ひます。これからも軽トラに乗って現場で汗しておりますので、お会いした際には気軽にお声がけいただければ幸いです。経営者としては若輩者にて足りないところも多々あると存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど重ねてお願ひ申し上げます。略儀ながら就任の挨拶とさせていただきます。

令和7年9月吉日
株式会社ゲインハウス
代表取締役 河野 大輔

今年も職場体験に来てくれました！



一生懸命取り組んでくれました

夏休みに入ったばかりの三日間、今年も小方中学校の2年生の生徒さんがキャリアスタートウィークと言う名の職場体験に来てくれました。今年来てくれた生徒さんは可愛い女子生徒さん。平成20年頃から職場体験の生徒さんを受け入れて来ましたが、女子生徒の受け入れは初めてのことで、先生の方からも「今年御社を希望している生徒は女子なのですが、将来建築の仕事をしたいと言っておりますので、是非よろしくお願ひします。」と言われ、受け入れた次第です。

暑い時期ではありましたが、二日間河野君に付いて現場を体験してもらい、現場で働く大工さんたちの仕事ぶりを見てもらいました。後日送られてきたお礼の手紙には、現場の職人さんたちが笑顔で楽しそうに仕事をしていることが印象的だったと書いてくれていました。



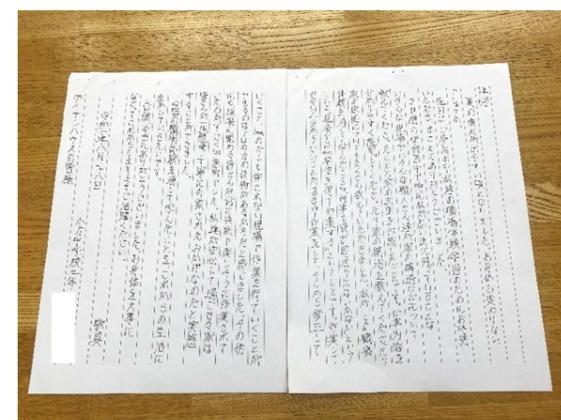
生徒さんが作ったLDKのパーズ

最後の一日は、プレゼンテーションソフトを使って「自分が住みたい家」を作ってもらいました。

左のパーズが彼女が作った住まいのLDKです。もちろん間取りの作成までは私が指導しましたが、驚くことに、インテリアなどに関しては彼女が一人でソフトにある家具や照明などを選んでレイアウトしていました。

LDKの中にテントを置くなんて私たちの常識には全くないことで、逆に新しい刺激を与えてくれました。

何とも将来が楽しみな女子生徒さんでした。(啓)



弊社の男子社員の誰よりもきれいな字で書いた礼状

最初にも書きましたが、職場体験に中学生が来てくれるようになって17年。最初に来た子はもう30歳を過ぎている計算になります。と過去の資料を見返していたら、ちょっと前にリフォームをさせていただいたお宅の息子さんも来られていてちょっとびっくりです。

さて、人手不足は弊社にも影響しており、採用は予断を許さない状況となっております。私の代になってからは、採用は他社の仕事に染まっていない新卒のみと決めて、廿日市店の宮本店長以来、新卒だけを採用してきました。お陰で、皆さんから「いい人ばかりですね！」と言っただけです。

今年も募集を出していますが、大手も積極的な採用を行っているので、我々零細には苦しい状況が続いています。皆さんのお知り合いで、建築に興味のある学生さんがおられたらご紹介願ひします。(啓)

HOUSING PLAZA

GEINAN HOUSE



GEINAN HOUSE